

緊急学習会 介護保険のこれからを考える



生活援助・福祉用具の 保険はずしに“待った”を!

介護保険の次期制度改定に向けて、厚生労働省の審議会で「要介護1,2」の方に対する生活援助や福祉用具の貸与などを保険給付から外すことが検討されています。当事者や現場からは強い懸念と疑問が出されており、全国の自治体の議会からも意見書の提出が相次いでいます。私たちも、要介護高齢者や家族、そしてサポートする現場からの声をぜひとも上げていきたいと思えます。ついては、制度改定に向けた国の検討状況を確認し、その問題点を共有するための緊急学習会を企画しました。どうぞご参加ください。

日時 9月21日(水) 18時30分～

場所 区民産業プラザ第2研修室

(練馬駅北口すぐ。「ココネリ」ビル3階 03-5912-1631)

参加費 300円(会場費・資料代として)

- お話し 小島美里さん (特定非営利活動法人 暮らしネット・えん 代表理事)

1984年～96年 教育、福祉、脱原発、消費者問題などの市民運動にたずさわりながら新座市議会議員(無党派)をつとめる。1996年より堀ノ内病院在宅福祉部門『ケアサポートステーション・MOMO』を立ち上げ、ホームヘルパー派遣事業(新座市委託)を開始。97年、『ミニデイホーム・コスモスの家』(認知症対応デイホーム自主事業)を開設。2003年、NPO法人『暮らしネット・えん』設立。介護支援専門員、認知症介護指導者

- 当事者・現場からの発言 / 区議会の動きから 区議会各会派の皆さん

主催 練馬の介護保険のこれからを考える会

連絡先 新井幸恵 (貫井在住。全国老人福祉問題研究会)
090(9329)0436 indykun@khaki.plala.or.jp

賛同人(8/31現在 あいうえお順)

荒井養子(ケアプランニング結い代表)、池尻成二(区議会議員・市民の声ねりま)、井上暁子(暮らしネット・えん介護職員)、井上陽子(介護家族)、片山むぎほ(介護家族)、かとうぎ桜子(区議会議員・市民ふくしフォーラム)、黒沢恵子(ケアマネウィズだいごんの花)、黒部信一(小児科医師)、小泉晴子(社会福祉士)、神津美由紀(生活助け合いあおぞら)、護守庸子(練馬リハビリ友の会)、坂尻まさゆき(区議会議員・日本共産党)、杉浦貞子(介護家族)、田井喜代子(ケアプラン・エプロン)、高野かな子(訪問看護師)、田中基誉(東京保健生協練馬中支部)、中島加代子(元・介護家族)、三宅陽子(くらしのお手伝い・こぶしの会)、村上絵理子(大泉生協病院事務次長)、やない克子(区議会議員・練馬生活者ネットワーク)、矢部弘明(東京の高齢期福祉を進める会理事)、吉田章(よしだ内科クリニック院長)